

平成21年3月期 第3四半期決算概要

1. 連結決算(20年4月～12月)

(1) 概要

(単位: 億円、倍)

	当四半期	前年同期	増減	増減率(%)	単独決算	連単倍率
売上高	11,613	10,009	1,604	16.0	10,118	1.15
営業利益	△139	234	△373	—	△286	—
経常利益	△180	222	△402	—	△301	—
第3四半期純利益	△73	127	△200	—	△191	—
1株当たり四半期純利益	△2.78円	4.79円	△7.57円	—	△7.20円	—
有利子負債(注2)	7,580	5,587	1,993	35.7	6,642	—

(注1) 連結会社数: 連結子会社57社・持分法適用関連会社4社

(注2) 有利子負債は20年3月期との比較

- ① 売上高は、ガス売上高が平成20年4月からの料金引下げ改訂による減収影響はあるものの、ガス販売量の増加(1.3%増)および原料費調整制度に基づく料金単価調整等により19.1%増加したことに加え、エネルギーサービス事業等の売上も増加したため、全体では16.0%増加し、1兆1,613億円となりました。
- ② 費用は、経営効率化の一層の推進を図り抑制に努めたものの、ガス販売量増およびLNG価格高騰等に伴う原材料費増等により増加いたしました。その結果、営業利益は△373億円減の△139億円、経常利益は△402億円減の△180億円となりました。リース会計基準導入等に伴う特別利益を94億円計上したことにより、第3四半期純利益は△200億円減の△73億円となりました。

(2) 事業別の概況

(単位: 億円)

	売上高		増減	増減率(%)	営業利益		増減	増減率(%)
	当四半期	前年同期			当四半期	前年同期		
ガス	8,658	7,267	1,391	19.1	185	527	△342	△64.7
ガス器具	915	937	△22	△2.4	34	43	△9	△19.2
受注工事	319	370	△51	△13.7	△14	△7	△7	—
不動産賃貸	268	263	5	2.2	70	63	7	10.7
その他	2,670	2,187	483	22.1	78	77	1	1.3

(注) 売上高には、事業間の内部取引を含んでおり、営業利益には、配賦不能営業費用を含んでおりません。

2. 東京ガス個別決算(20年4月～12月)

(1) ガス販売量

		当四半期	前年同期	増減	増減率(%)		
お客さま件数		千件	10,199	10,052	147	1.5	
ガス販売量	家庭用	百万m ³	2,053	2,061	△8	△0.4	
	業務用	商業用	百万m ³	1,441	1,502	△61	△4.1
		その他用	百万m ³	630	643	△13	△2.1
	工業用	百万m ³	4,165	4,162	3	0.1	
	計	百万m ³	6,236	6,307	△71	△1.1	
	他事業者向供給	百万m ³	1,517	1,446	71	4.9	
合計	百万m ³	9,806	9,814	△8	△0.1		
平均気温	℃	19.4	19.6	△0.2	—		

(備考) その他用: 公用・医療用

- ① 家庭用需要は、検針日程の関係でガスのご使用日数が前年同期よりも少ないこと等により、△0.4%減少いたしました。
- ② 商業用需要及びその他用需要は、新規需要の開発に努めたものの、夏期は気温が低く推移し、12月は気温が高く推移した影響で空調需要が減少したこと等により、それぞれ△4.1%、△2.1%減少いたしました。
- ③ 工業用需要は、既存需要の稼働減はあったものの新規需要の獲得により、0.1%増加いたしました。
- ④ 他事業者向供給は、供給先事業者の新規需要の開発等により4.9%増加いたしました。

(2) 収支概要

(単位: 億円)

収益		増減	増減率(%)	費用		増減	増減率(%)		
ガス売上	8,449	1,323	18.6	営業費	売上原価	5,767	1,580	37.7	
					販管費	3,006	81	2.8	
					計	8,773	1,661	23.4	
その他売上	受注工事	274	△39	△12.2	その他費用	受注工事	288	△31	△9.8
	器具販売他	773	△21	△2.8		器具販売	723	△23	△3.1
	附帯事業	620	329	112.9		附帯事業	619	331	114.7
	計	1,668	269	19.2		計	1,631	277	20.4
総売上高	10,118	1,592	18.7	総費用	10,405	1,938	22.9		
				営業利益	△286	△344	—		
営業外収益	109	△7	△6.1	営業外費用	124	30	31.7		
				経常利益	△301	△381	—		
特別利益	—	—	—	特別損失	—	△5	△100.0		
				第3四半期純利益	△191	△238	—		

- ① ガス売上高は、平成20年4月からの料金引下げ改訂および販売量減(△0.1%減)による減収影響はあるものの、原料費調整制度に基づく料金単価調整等により、18.6%増の8,449億円となりました。これに受注工事、器具販売、附帯事業の売上を加えた総売上高は、18.7%増の1兆118億円となりました。
- ② 費用は、LNG価格高騰等の影響による原材料費増(39.6%増)等により、営業費全体では23.4%増の8,773億円となりました。これに受注工事、器具販売、附帯事業の費用を加えた総費用は22.9%増の1兆405億円となりました。
- ③ この結果、営業利益は△344億円減の△286億円となり、経常利益は△381億円減の△301億円となりました。また、第3四半期純利益は△238億円減の△191億円となりました。

(3) 主要計数

	当四半期	前年同期	増減	増減率(%)
原油価格(\$/bbl)	105.05	73.47	31.58	43.0
為替レート(円/\$)	102.92	117.35	△14.43	△12.3
原材料費(億円)	5,562	3,983	1,579	39.6
支払利息(億円)	69	59	10	15.8
設備投資(億円)	710	588	122	20.7
総資産(億円)	15,205	14,014	1,191	8.5
その他有価証券評価益(億円)	183	434	△251	△57.8
有利子負債(億円)	6,642	4,652	1,990	42.8

(注) 総資産・その他有価証券評価益・有利子負債は前期(20年3月期)との比較

3. 通期(21年3月期)の見通し

前回の業績予想に対して、原油価格の下落を反映して通期の原油価格見通しを91.29\$/bbl(1月以降50\$/bbl)に、為替の円高傾向を反映して通期の為替レート見通しを100.94円/\$ (1月以降95円/\$)に、それぞれ変更いたしました。

その結果、連結においては、主に東京ガス個別の業績見通しの修正により、総売上高は△820億円減少するものの、営業利益は400億円、経常利益は380億円、当期純利益は240億円、それぞれ前回業績予想を上回る見通しです。東京ガス個別の業績見通しについては、ガス売上高が景気後退の影響等によるガス販売量減少(△2.8%減少)および原料費調整制度に基づく料金単価調整等により△560億円減少すること等から、個別の総売上高については△700億円減少を見込んでおりますが、原油価格の下落と円高の進展により原材料費が△984億円減少すること等から、総費用は△1,090億円減少の見込みであります。以上の要因により、個別の営業利益は390億円、経常利益は380億円、当期純利益は230億円、それぞれ前回業績予想を上回る見通しです。

(単位: 百万m³、億円)

	連結決算				個別決算			
	通期見通し	対前年増減	増減率(%)	対前回増減	通期見通し	対前年増減	増減率(%)	対前回増減
ガス販売量	14,089	△126	△0.9	△408	13,724	△329	△2.3	△394
総売上高	16,990	2,116	14.2	△820	14,600	1,920	15.1	△700
ガス売上高	12,696	1,826	16.8	△561	12,360	1,702	16.0	△560
その他売上高	4,294	290	7.2	△259	2,240	218	10.8	△140
営業利益	500	△200	△28.6	400	280	△148	△34.7	390
経常利益	420	△248	△37.2	380	250	△193	△43.7	380
当期純利益	330	△94	△22.3	240	170	△129	△43.2	230

<前提となる経済フレーム>

	通期見通し	対前年増減	増減率(%)	対前回増減	備考
原油価格(\$/bbl)	91.29	12.58	16.0	△21.03	前年実績78.71\$、前回見通し112.32\$(10月以降平均105\$)
為替レート(円/\$)	100.94	△13.50	△11.8	△4.61	前年実績114.44円、前回見通し105.55円(10月以降平均105円)

